本書は、商品に同封している取扱説明書をダウンロード用に再編集したものです。

Suku Suku Easy
コンパクト ベビーカー

取扱説明書

このたびはお買い上げいただき、ありがとうございます。

品質保証書付

●ご使用の前に、「品質保証書」に次の項目を記入してください。
① ロットNo.（後側から見て右側面の座面下のパイプに貼ってあるシールに記載されています。）
② お客様のお名前・ご住所・電話番号
③ 販売店名

●領収書（レシート）を本書といっしょに保管してください。

●お買い上げの購入履歴またはレシートと品質保証書をご提示いただいた場合に保証対象となります。

安全基準B型
（7 ヵ月～36 ヵ月ころまで）

ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

● 本書は大切に保管してください。
● 取りはずしてある部品は、本書をよく読んで正しく取り付けてください。
● 本製品を他のお客様にお譲りになるときには、必ず本書もあわせてお渡しください。
※製品のイラストは一般的な形であり、実際の形とは異なるところがあります。

● この製品は、一般家庭でお子さまを乗せ、外気浴、買い物などに使用するための1人乗り乳母車（ベビーカー）です。
● 望ましい連続使用時間：1時間以内
● 使用できるお子さまの年齢：生後7ヵ月※以上36 ヵ月ごろまで
（お子さまの体重の目安15kg以下、お子さまの発育により個人差があります）
※生後7 ヵ月とは、出生時に体重2.5kg 以上かつ在胎週数37 週以上を満たし、7ヵ月経過したお子さまを示します。

品質保証書
点検とアフターサービスについて

本書は、本書記載内容で無料保証を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から下記期間中製品の故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

保証規定

1. 1度ご使用になった製品は、原則としてお取り替えできません。
2. 保証期間内（お買い上げ日より1年間）に正常な使用状態において、万一故障した場合には無料で保証いたします。
3. 保証期間内でも次のようなものは有料保証になります。
   (a) プラスチック部品の自然劣化による変色。
   (b) シートクッションなど、縫製品の傷や破れ。
   (c) お客様の誤使用、または改造や不当な修理による故障および損傷。
   (d) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変による故障および損傷。
   (e) 本書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
   (f) 本書のご提示がない場合。
   (g) 一般家庭以外で、業務用などにご使用され故障した場合。
   (h) 車輪の自然摩耗。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。海外からの保証サービスはいたしかねます。
5. 製造中止後の製品については必要部品の在庫がなくなった場合、保証できないこともあります。
6. 製品の品質向上のため、予告なしに仕様変更することもあります。ご了承ください。

製品名	ロットNo.	お買い上げ日	保証期間
Suku Suku Easy コンパクト ベビーカー	（座面下のパイプのシールをご覧ください）	年　月　日	お買い上げ日より1年間 （ただし保証規定による）
お客様	お名前　様	ご住所　〒	TEL
販売店	店　名	住　所	TEL

修理メモ

●お買い上げ後、お買い上げ日、お客様名、販売店名、ロットNo.をただちにご記入願います。
●万一故障が生じました場合は保証書をご提示ください。本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
●この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料保証をお約束するものです。従ってこの保証書によって法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の保証についてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
●保証書にご記載いただきました個人情報につきましては、個人情報保護法の規定に従い、お客さまの故障保証についてのみ利用させていただきます。それ以外の用途には利用いたしません。

株式会社 アリーナ
〒812-0011　福岡市博多区博多駅前 2-20-15
www.arena-inc.com/cs2/
お問い合わせはURL アドレスまたは右記QRコードから、フォームへのご記入をお願いいたします。
お客さま情報とお問い合わせ内容を入力いただきますと、サポートセンターより回答をお送りさせていただきます。
TEL.050-8888-8296

お問い合わせサイト

183926000
2020.9

安全にご使用いただくために

●製品を使用する上でご理解いただきたい警告および注意事項を記載しています。製品を正しく安全にお使いいただき、危害や損害を未然に防止するためのものです。
ここに記載した内容を無視した場合、お子さまおよびご使用者のかたが重大な損害を被るおそれがあります。よくお読みの上、製品をご使用ください。
●ここに表示した注意事項は、取り扱いを誤ると、お子さまおよびご使用者への危害が発生したり、物的損害の発生が予想される事項を危害・損害の大きさ、切迫度により「警告」・「注意」の2つに区分して示してあります。
安全のため必ずお守りください。

表示	表示の内容
⚠警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。
⚠注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害の可能性があります。

●お守りいただく内容の種類を次の表示で区分し説明しています。

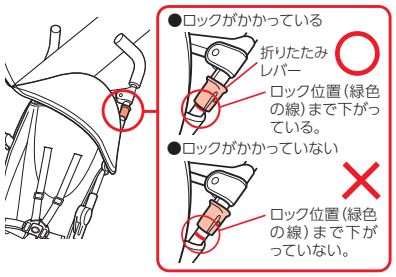
⚠	警告/注意をうながす内容があることを告げるものです。
✕	禁止行為であることを告げるものです。

ワンポイント	補足説明

⚠警告　取り扱いを誤ると重大な事故につながるおそれがあります。

お子さまが落ちたりベビーカーが折りたたまれるおそれがあります。

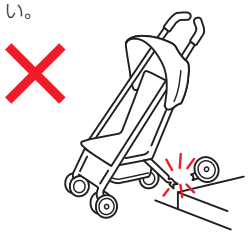
●左右の折りたたみレバーのロックが確実にかかっていること(ベビーカーが完全に開いた状態であるか) を確認してから使用してください。



●お子さまを乗せたまま、幌や車体フレームを持つなどしてベビーカーを持ち上げないでください。手がすべったり、バランスを崩し、転倒するおそれがあります。

●階段、エスカレーター、大きな段差のあるところ、また、砂場、砂浜、河原、ぬかるみなどの悪路では使用しないでください。

●破損や異常が発生した場合は、必ず修理を受けてください。当社までご連絡ください。



お子さまが落ちるおそれがあります。

●すべてのシートベルトを必ず締めて使用してください。
●お子さまは思わぬ動作をしますので、シートベルトを締めていても立ち上がるおそれがあります。目を離さず、十分注意してご使用ください。
●肩ベルトは、お子さまの体格にあわせて調節してください。長すぎると首に巻きつく危険があります。

●お子さまをベビーカーの中で立たせないでください。

ベビーカーが転倒してお子さまが落ちるおそれがあります。

●お子さまを乗せているとき、カゴ以外の所に荷物をのせたり、つるしたりしないでください。特にハンドル、背パイプステー周辺、ショルダーストラップにつるすと不安定になり、ベビーカーが転倒するおそれがあります。

●ご使用中にハンドルによりかかったり、荷物をつるすなどハンドルへの過度の荷重はかけないでください。

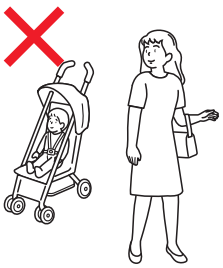
●ベビーカーに同時に2人以上のお子さまを乗せたり、お子さまをシート以外の所に乗せないでください。また、お子さまを乗せることを目的としたボードなどは取り付けないでください。

●お子さまが乗り降りする際は、ベビーカーが不安定になり転倒するおそれがありますので、しっかりと支えてください。

ベビーカーが動き出したり、転倒するおそれがあります。

●ストッパーを過信しないでください。
ストッパーをかけていても、動き出したり転倒するおそれがあります。

●お子さまを乗せたまま、ベビーカーから離れないでください。



●ベビーカーは空車であっても坂の途中、車道に近い歩道上など危険な場所に放置しないでください。

指をはさむなど思わぬケガをするおそれがあります。

●ベビーカーの開閉時には、他人や小さいお子さまを近づけずに行ってください。指をはさんだりするおそれがあります。
●幌を開閉するときは、お子さまの指や手に注意し操作を行ってください。指をはさんだりするおそれがあります。

⚠注意 取り扱いを誤ると傷害を負ったり、ベビーカーが破損するおそれがあります。

●お子さまを乗せる以外の目的で使用しないでください。目的外の使用では破損などのおそれがあります。
●お子さまにベビーカーを操作させないでください。転倒や思わぬ事故につながります。
●お子さまを乗せたとき、シートベルトがバックルに装着され、ベルトにゆるみがないことを確認してください。お子さまが抜け出したり、落下するおそれがあります。
●お子さまの乗車時はもちろん空車であってもシート先端を持って持ち運ばないでください。ベビーカーが急に折りたたまれたり、シートがはずれたり、手がすべって落下するおそれがあります。
●ベビーカーに大人が腰かけたり、過度の荷重を加えないでください。破損、故障の原因となります。
●ベビーカーを押すときは走らないでください。走るとキャスターの動きが悪くなったり、転倒などの事故につながるおそれがあります。
●出荷時に取り付けられている部品、および当社指定の部品以外は使用しないでください。
破損・故障や思わぬ事故につながるおそれがあります。
●ベビーカー本体にはお子さまを乗せることを目的としたボードなどは取り付けないでください。破損の原因となります。
●買い物カゴには5kg 以上の荷物を入れないでください。破損の原因となります。
●段差を乗り越える場合は、前輪を浮かせて段差を乗り越えてください。段差を無理に乗り越えようとすると、前輪に衝撃が加わり、破損・故障の原因となります。
●踏切を渡るときは、線路の溝に車輪を取られたり、はさまないように、溝の部分は前輪を浮かせて進んでください。
●雪が積もっているところや凍結したところなど、すべりやすい路面では使用しないでください。ベビーカーだけでなく保護者も転倒するおそれがあります。
●風の強いときには使用しないでください。勝手に動き出したり、転倒するおそれがあります。
●雷のときは使用しないでください。落雷のおそれがあります。
●夏季の晴天日中などは、路面の影響によりベビーカー内の温度が高くなるため、長時間の使用は避けてください。
●火の近くや高温になる場所での放置、保管は避けてください。故障や変形の原因となります。
●ベビーカー本体の上に荷物などを重ねたり、圧力が加わるような状態で保管しないでください。故障や変形の原因となります。
●製品の改造や不当な修理をしないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
●ご使用の前に、ネジやナットなどにゆるみがないか確認してください。ゆるみやきしみがある場合は使用を中止し、必ず当社へご連絡ください。部品に異常なゆるみやきしみがあったり、部品の欠落、車輪の回転が円滑でない場合は、重大な事故につながるおそれがあります。
●長時間の使用禁止
長時間連続してのご使用は、お子さまの負担となります。1 時間以内で休憩をとるなどしてください。
●バスの中では使用しないでください。本製品は、バスの中で使用することを目的として設計されたものではありません。本製品をバスの中で使用すると、カーブや急ブレーキなどで転倒や思わぬ事故につながります。
●電車の中での使用について
本製品は電車の中で使用することを目的として設計されたものではありません。お客様の責任により、本製品を電車の中で使用するときは、カーブや急ブレーキなどで転倒するなどのおそれがありますので、必ずストッパーをかけて、十分注意してご使用ください。

SG マークの被害者救済制度

SG マーク付き製品の欠陥により、人身被害が生じたと認められる場合、製品安全協会が事故原因、被害の程度などに応じて、賠償措置を実施する制度です。
ベビーカーの場合は、お買い上げ日より4年以内が有効期間となります。

●賠償についてのご注意

認定された製品そのものが故障したとしても、その品質について保証するものではありません。あくまでも傷害などの身体的な損害（人的損害）について賠償する制度です。

●製品の欠陥により事故が起きた場合

損害を被った消費者（お子さまなどの場合は、保護者）が、事故発生日から60 日以内に下記までご連絡願います。

一般財団法人　製品安全協会
東京都台東区竜泉2丁目20番2号ミサワホームズ三ノ輪 2 階
TEL.（03）5808-3303

●事故の届出に必要な項目

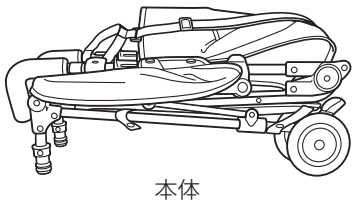
① 事故の原因となった製品現品 .....・製品名称、ロットNo. ・購入先、購入年月日
② 事故発生の状況 .....・事故発生年月日 ・事故発生場所 ・事故発生状況
③ 被害の状況 .....・被害者の氏名、年齢、性別、住所 ・被害の状況

各部のなまえ

●開封されましたら各部品がそろっているかご確認ください。
●取りはずしてある部品は本文をよく読んで正しく取り付けてください。

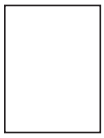
箱の中には次のものが入っています。
箱を開けたらすべてそろっていることを確認してください。

●本体
●前車輪（2 個）
●取扱説明書（本書）

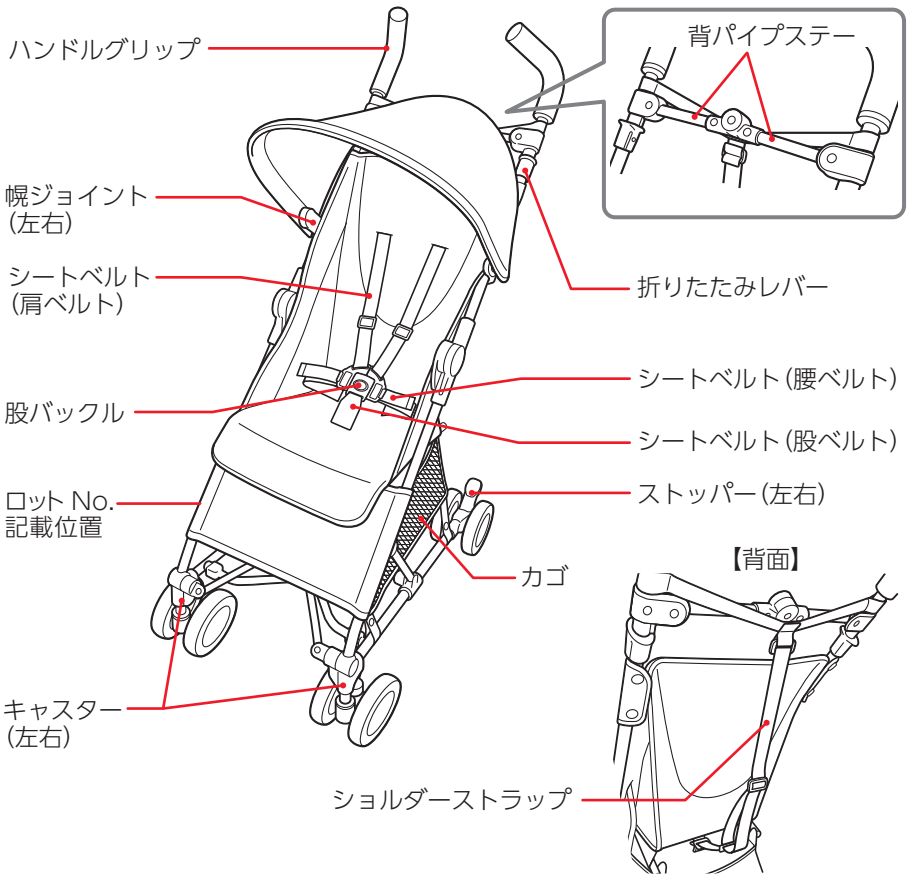


本体

前車輪（2 個）



取扱説明書（本書）



日常のお手入れ

縫製品の洗濯について

●幌、シート、シートベルト、買い物カゴの洗濯

・幌、シート、シートベルト、買い物カゴは液中につけず、水、またはぬるま湯の洗剤をつけたブラシやスポンジなどを使用して、汚れをふき取ってください。
・洗濯機、脱水機、乾燥機の使用はしないでください。バックルなどの破損につながるおそれがあります。
・シートの面ファスナーはとめて洗濯してください。生地にひっかけて傷つけるおそれがあります。
・幌のプラスチック部分やカゴの板、シートのプラスチック部分などでケガをしないように注意してください。
・洗剤を使用して汚れを取った後は、水を含ませた布やスポンジで洗剤分が残らないように数回ふき取ってください。
・乾かすときは、乾いた布で水分をふき取り、陰干ししてください。

※ 製品の特性上、若干色あせすることがあります。
※ 洗剤は、（蛍光剤・漂白剤・酵素などを含まない）中性洗剤を使用することをおすすめします。また、快適にお使いいただくために、こまめに洗濯することをおすすめします。
※ 保管状態により、カビが発生することがあります。こまめに洗濯をし、清潔に保つように心がけてください。

車体の清掃について

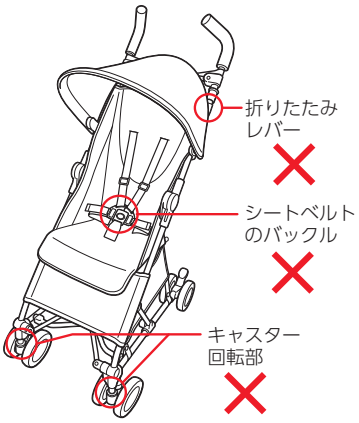
⚠注意　車体の清掃は水ぶき以外はしないでください。部品の変質、劣化の原因となります。

●車輪やプラスチック部品および金属部品の汚れは、水を含ませよくしぼった布でふき取ります。

注油について

⚠注意　お子さまがなめる可能性の高い部分などには油が付着しないようご注意ください。

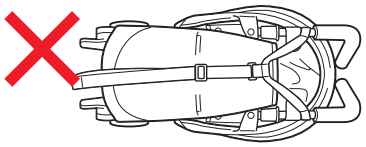
●きしみが発生したり、作動が鈍くなって注油が必要と思われる場合は、必ず、潤滑油（シリコーン系）を少量、注油してください。注油するときは、注油部分の泥や汚れをあらかじめふき取ってください。また、注油量が多すぎると、ほこりが付きやすく、かえって機能を低下させます。
●右に示す部分には注油しないでください。作動不良を起こす原因となります。



保管のしかた

直射日光を避け、湿気が少なく雨やほこりがかからない場所に立てて保管してください。屋外で保管する場合はカバーをかけることをおすすめします。

⚠注意
●火の近くや夏季の車内など高温になる場所での保管は避けてください。
●ベビーカーに荷物を重ねた状態で保管をしないでください。故障や変形の原因となります。
●ベビーカーを寝かせて保管する場合は、背面を上にしてください。横向きに寝かせて保管すると、故障や変形の原因となります。



廃棄方法について

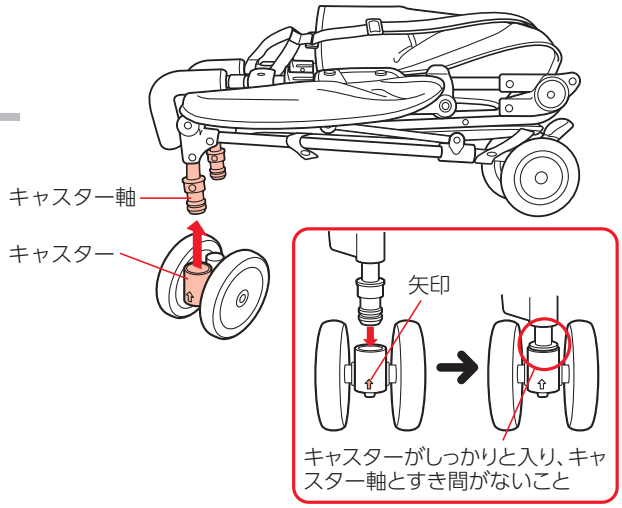
お住まいの各自治体の指示に従い、処分・廃棄してください。

ベビーカーの組み立てかた

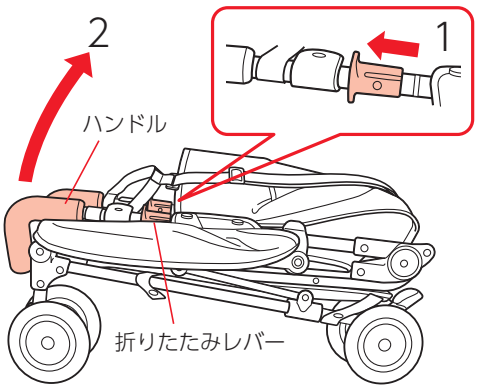
⚠警告
- ベビーカーを開くときは、そばに人（特に小さいお子さま）を近づけずに行ってください。指や手をはさむおそれがあります。
- ベビーカーを開いた後、折りたたみレバーのロックが確実にかかっていることを確認してください。

1 前車輪（左右）のキャスターの矢印の向きが上を向くようにしてキャスター軸（左右）に取り付ける。

取付後、キャスター軸とキャスターにすき間がないことと車輪を引っぱりはずれないことを確認する。

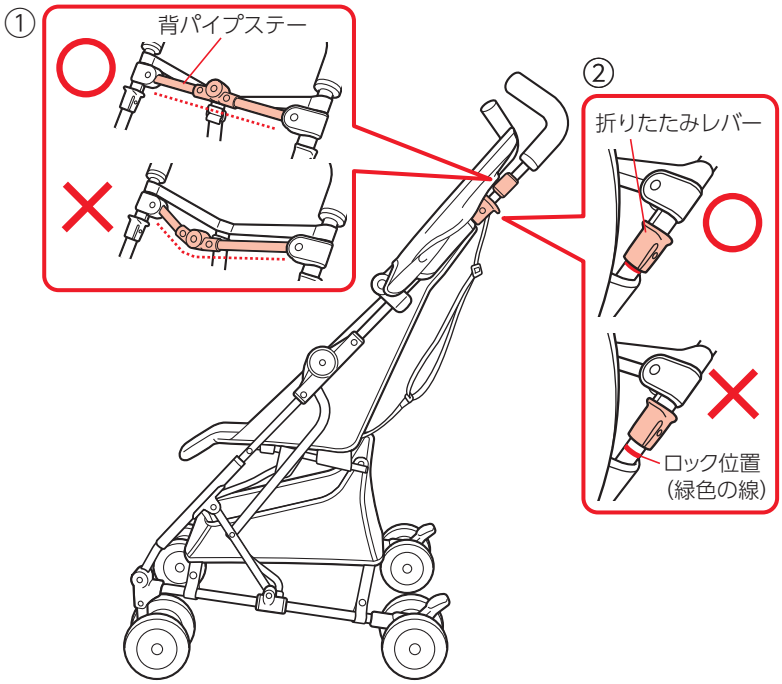


2
1. 折りたたみレバー（左右）を引き上げる。
2. 折りたたみレバー（左右）を引き上げたまま、ハンドルを持ち上げベビーカーを開く。



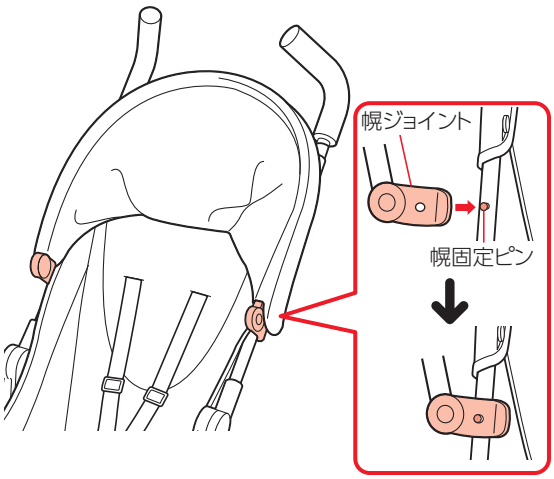
ワンポイント
ハンドルを持ち上げながら折りたたみレバーを引き上げようとすると操作がかたくなります。折りたたみレバーを引き上げてからハンドルを持ち上げてください。

3. ①開いた後、背パイプステーがまっすぐになっていることを確認し、②折りたたみレバーがロック位置（緑色の線）まで下がっていることを確認する。



3 左右の幌ジョイントの穴と本体の幌固定ピンの位置が合うように取り付ける。

取り付け後、幌を引っぱりはずれないことを確認する。

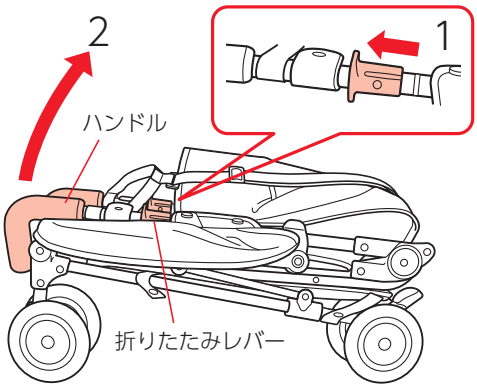


ベビーカーの開きかた

⚠警告
- ベビーカーを開くときは、そばに人（特に小さいお子さま）を近づけずに行ってください。指や手をはさむおそれがあります。
- ベビーカーを開いた後、折りたたみレバーのロックが確実にかかっていることを確認してください。

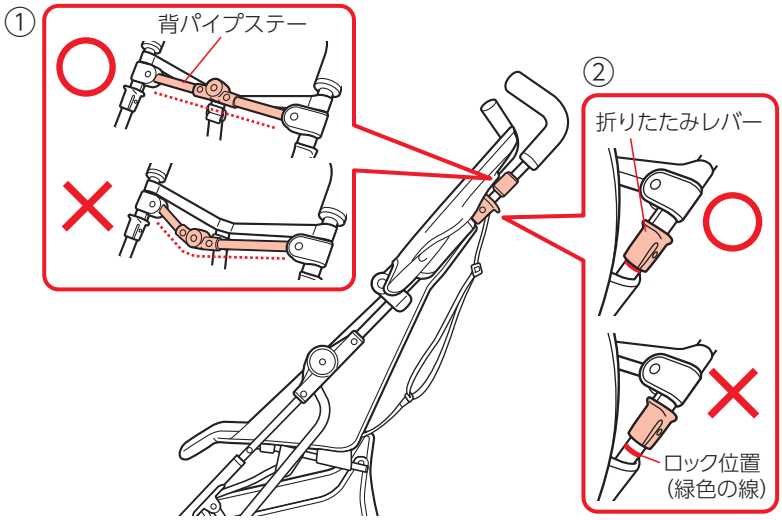
⚠注意
お子さまにベビーカーを操作させないでください。転倒や思わぬ事故につながるおそれがあります。

1
1. 折りたたみレバー（左右）を引き上げる。
2. 折りたたみレバー（左右）を引き上げたまま、ハンドルを持ち上げベビーカーを開く。



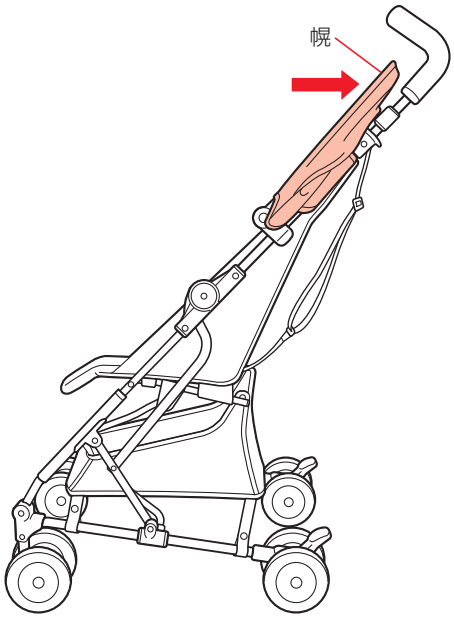
ワンポイント
ハンドルを持ち上げながら折りたたみレバーを引き上げようとすると操作がかたくなります。折りたたみレバーを引き上げてからハンドルを持ち上げてください。

3 ①開いた後、背パイプステーがまっすぐになっていることを確認し、②折りたたみレバーがロック位置（緑色の線）まで下がっていることを確認する。

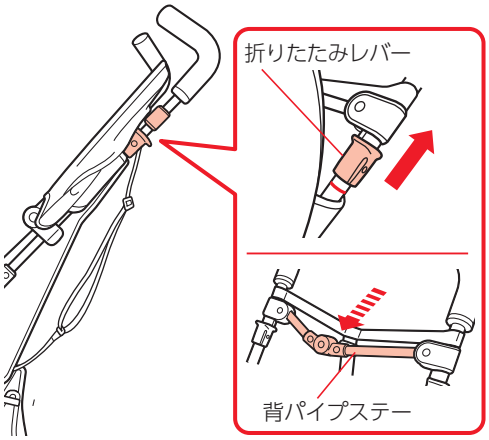


ベビーカーの折りたたみかた

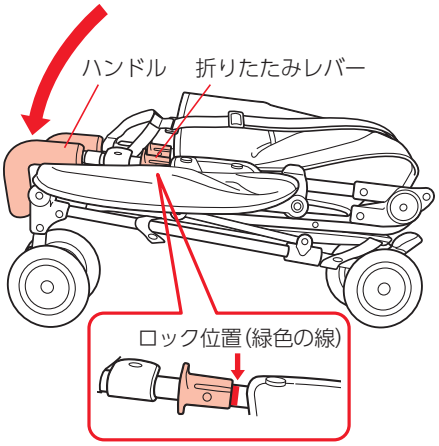
1 幌を閉じる。



2 折りたたみレバーを引き上げ、背パイプステーが下に折れていることを確認する。



3 ハンドルを前側に倒してベビーカーを折りたたむ。
折りたたみレバーがロック位置（緑色の線）まで下がっていることを確認する。



シートベルト(股ベルト・腰ベルト・肩ベルト)の使いかた

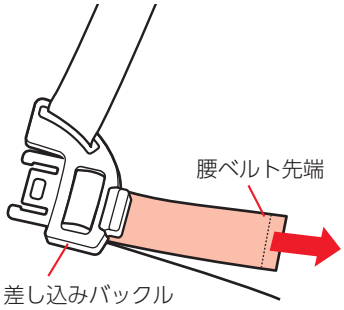
⚠警告
- お子さまを乗せたときは必ずシートベルトを締めてください。締めずに乗せたり、ベルトの締めかたが不完全ですと、使用中にお子さまが落ちるおそれがあります。また、シートベルトを締めていても、万一の抜け出し、立ち上がりには十分注意してください。
- シートベルトの長さはお子さまの体にあわせて調節し、抜け出さないようにしっかりと締めてください。
- 肩ベルトを差し込みバックルに取り付ける際に、左右のベルトを交差させないでください。お子さまの首を圧迫するおそれがあります。

●シートベルトとは、股ベルト、腰ベルト、肩ベルトの総称です。

腰ベルトの長さを調節するとき

【締めるとき】

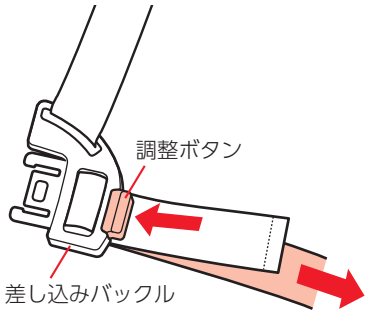
ベルトを矢印の方向に引く。



⚠警告
取り付け後、腰ベルトを強く引っぱり、腰ベルトがバックルから抜けないことを確認してから使用してください。

【ゆるめるとき】

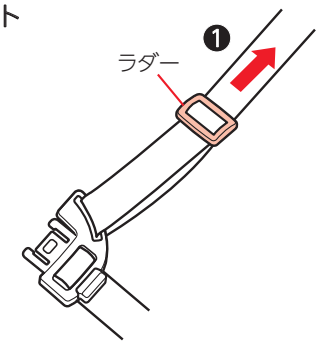
差し込みバックルの調整ボタンを押しながら、ベルトを矢印の方向に引く。



肩ベルトの長さを調節するとき

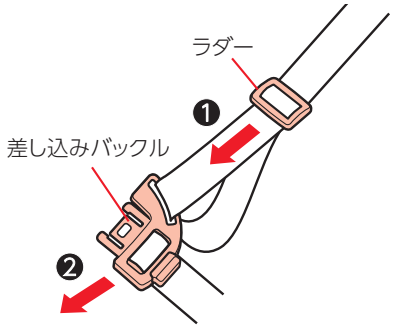
【締めるとき】

❶ラダーを持って、ベルトを矢印の方向に引く。



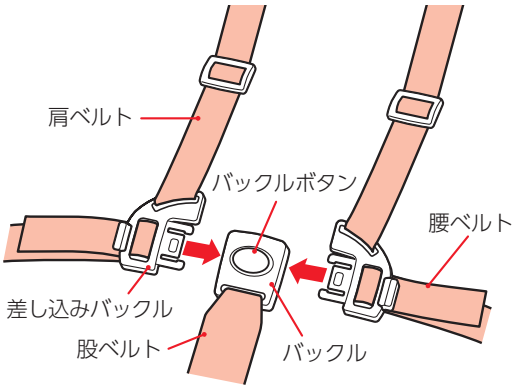
【ゆるめるとき】

❶ラダーを持って、ベルトを矢印の方向に引く。
❷差し込みバックルを矢印の方向に引いて、ベルトのたるみを調節する。



シートベルトを締めるとき

1. 股バックルの左右に腰ベルトの差し込みバックルを差し込み、「カチッと」と音がすることを確認する。
2. 肩ベルト、腰ベルトを引っぱり、はずれないことを確認する。



シートベルトをはずすとき

1. 股ベルトのバックルボタンを押して、腰ベルトをはずす。

ストッパーの使いかた

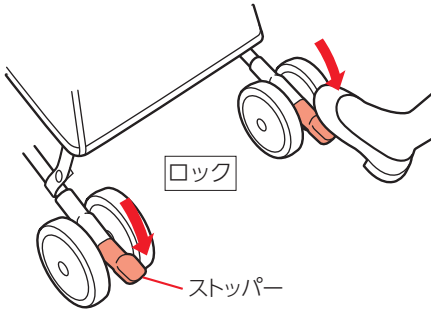
⚠警告
- ●ストッパーを過信しないでください。ストッパーをかけていても動き出したり、転倒するおそれがあります。
- ●お子さまを乗せたままベビーカーから離れないでください。また、ストッパーは左右ともかけて使用してください。ベビーカーが動き出したり転倒するおそれがあります。

⚠注意
空車であっても、ベビーカーから離れるときは必ず左右ともストッパーのロックをかけてください。
ストッパーのロックが不完全ですと動き出すことがあります。

●ベビーカーを停止させているときには、必ず左右ともストッパーのロックをかけてください。

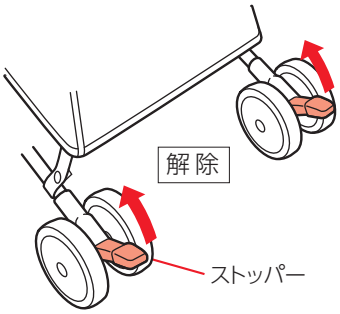
ストッパーをロックするとき

1. 左右後車輪のストッパーを押し下げてロックする。
2. ベビーカーを軽く前後に動かして、ストッパーのロックがかかっていることを確認する。



ストッパーのロックを解除するとき

ロックを解除するときは、ストッパーを押し上げる。



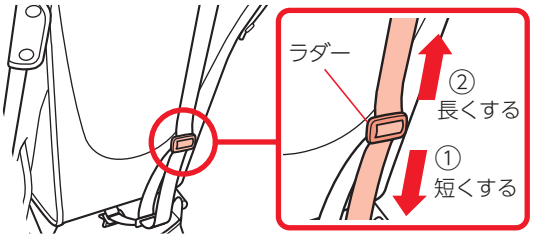
ショルダーストラップの使いかた

⚠注意
- ●電車やバスまたは混雑した場所ではベビーカーを肩にかけないでください。他の人にベビーカーが接触して迷惑になることがあります。
- ●巻き込みなどの事故につながるおそれもあるため、ショルダーストラップが車輪やその他のものに引っかかることがないようご注意ください。

●ショルダーストラップは、ベビーカーを折りたたんだ状態で肩にかけ、持ち運ぶためのベルトです。

使いかた

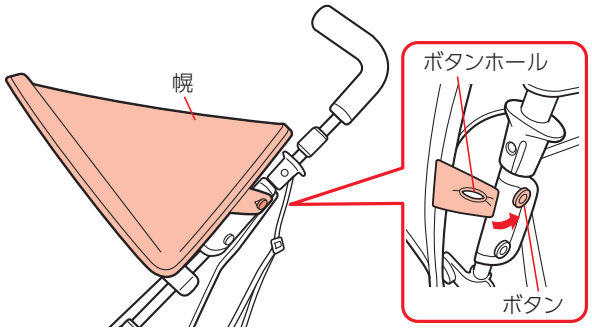
1. ベビーカーを折りたたむ。
   (「折りたたみかた」を参照してください。)
2. ショルダーストラップの長さを調節する。
   ①短くするには
   ラダーを持って、ベルトを矢印の方向に引く。
   ②長くするには
   ラダーを持って、ベルトを矢印の方向に引く。
3. ベビーカーを肩にかける。



幌の取り付けかた/使いかた

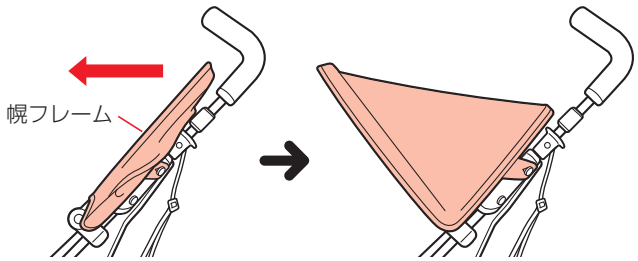
幌を取り付けるとき

図のように幌の2ヵ所のボタンホールを、本体のボタンにとめる。



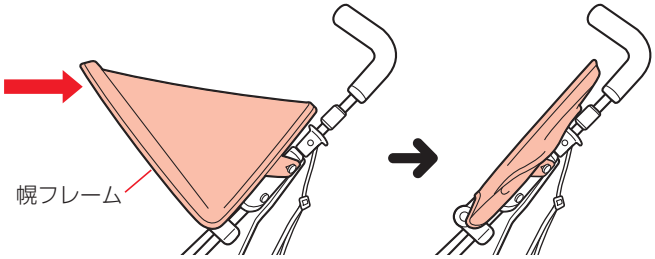
使用するとき

幌フレームを持ち、使用する大きさに幌を広げる。



収納するとき

幌フレームを持ち、幌を後ろにまとめる。



シートのはずしかた取り付けかた

⚠警告

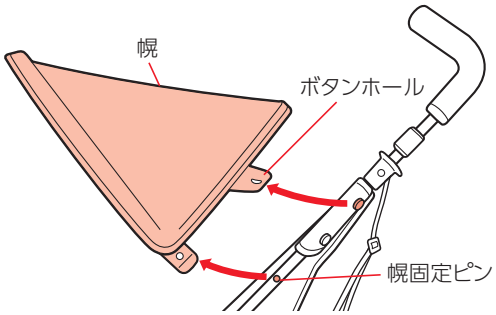
- ●着脱シートを取りはずしたままお子さまを乗せないでください。すき間に手や足をはさむおそれがあります。
- ●やぶれやほつれの発生した着脱シートはそのまま使用しないでください。中のワタをお子さまが飲み込んだり、着脱シート本来の機能が果たせなくなるおそれがあります。
- ●着脱シートを取り付ける際には、ホック類を確実にセットしてください。取り付けが不完全ですとケガややぶれなどの原因となります。

※着脱シートについて

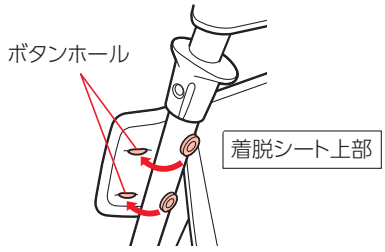
お子さまの服や靴に面ファスナーが付いている場合は、シートに面ファスナーが付着しないように気をつけてください。
生地に引っかけて傷つけるおそれがあります。

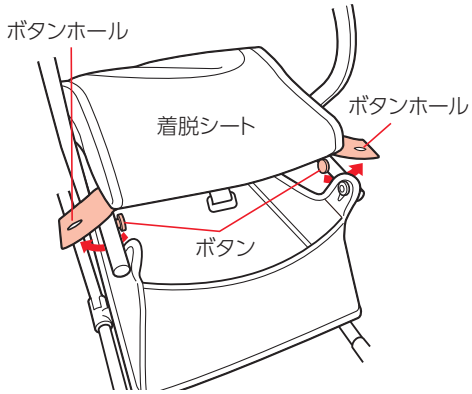
はずしかた

1. 幌のボタンホール（2ヵ所）と幌固定ピン（2ヵ所）をはずし、幌を車体からはずす。

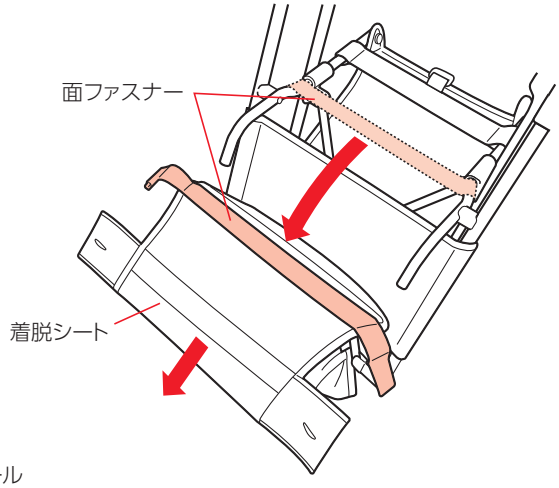


2. 着脱シート上部のボタンホール（4ヵ所）をはずし、シート側面のボタンホール（2ヵ所）をはずす。





3. 座面裏側の面ファスナーをはずし、着脱シートを車体からはずす。



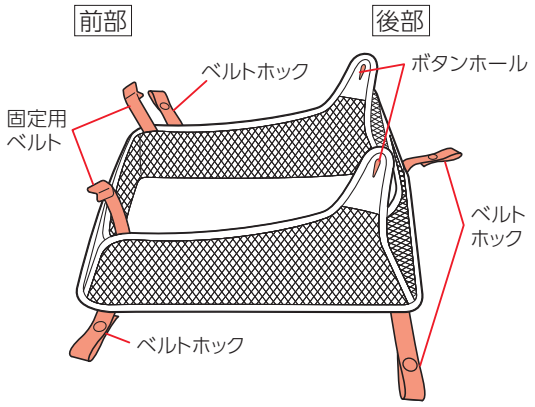
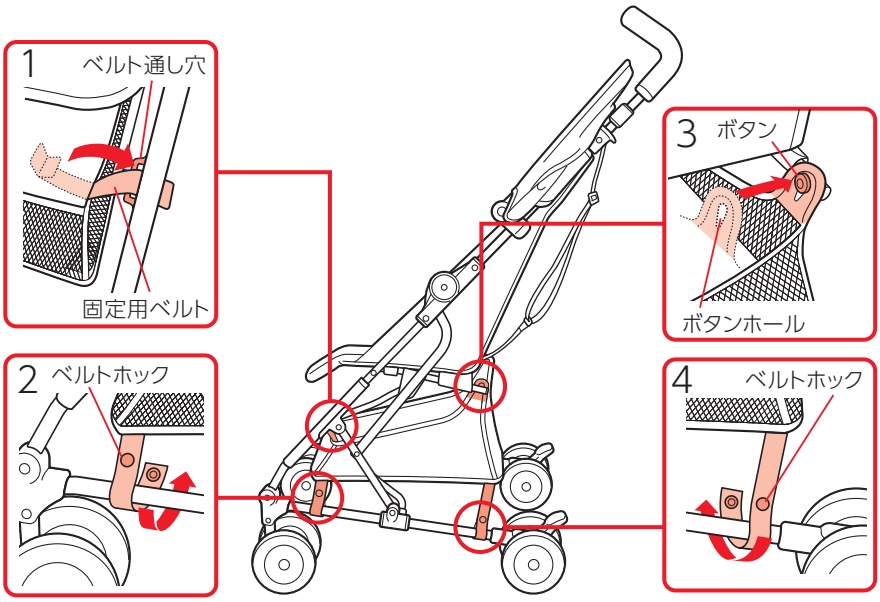
買い物カゴの取り付けかた、使いかた

取り付けるとき

⚠注意

- ガラス製品や割れやすいものは入れないでください。破損するおそれがあります。
- ベビーカーを折りたたむときは、荷物を取り出してください。ベビーカーの破損や荷物のつぶれの原因となります。
- 角のとがったものやカゴからはみだす大きさの荷物を入れないでください。カゴの変形およびやぶれの原因となります。
- 5kg以上の荷物はのせないでください。破損の原因となります。

カゴ各部の名前



1. 車体前脚(左右)にあるベルト通し穴に、買い物カゴの固定用ベルトを車体の前側から通してとめる。ベルト通し穴へ通した後、固定用ベルトを引っぱり、ベルト通し穴から抜けないことを確認する。
2. カゴの前部のベルトホックを前脚に巻いてとめる。
3. カゴの後部のボタンホールを車体のボタンにとめる。
4. カゴの後部のベルトホックを後脚に巻いてとめる。